

8 第3回学校関係者評価委員会総括(1月)学校関係者 評価で伝えよう 子どもの姿や学校のがんばりを!



学校関係者評価は、学校が示した学校自己評価結果でよいか、重点目標や評価項目等のあり方はいいかどうかを評価します。そのことを通して、

- ① 学校自己評価の客観性・透明性を高めます。
- ② 学校・家庭・地域が子どもの姿や学校の取組等について共通理解もち、学校の現状と課題を共有し、学校運営の改善への連携協力を促進します。

学校関係者評価を保護者や地域との連携のための「コミュニケーション・ツール」として活用することが大切です。

資料・説明は分かりやすく、親切に、事前配布が効果的。

学校関係者評価に必要な資料を準備します。

資料P55、P56

- 学校評価総括表(子どもの姿など達成状況、学校の取組状況)
- 前年度の学校自己評価・学校関係者評価の結果等
- 学校自己評価のときに参考にした資料
 - ・児童生徒、保護者、地域住民、職員へのアンケートの集計結果
 - ・重点目標に関する達成状況や取組状況の分かる資料 など

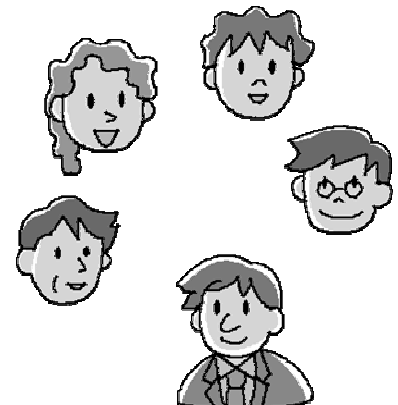
学校関係者評価委員の声に 改善のヒントが

学校関係者評価委員会では、積極的に発言してもらえるような工夫も必要です。

- ① 資料を事前配布しておくことで、評価委員からの積極的な意見がもらえます。
- ② 授業や学校行事の参観、施設・設備の観察、校長など教職員や児童生徒との対話などを行うようお願いしておく、十分な意見交換ができます。

学校評価を 学校改善に結びつけるために

- ① 全教職員が参加する第3回学校関係者評価委員会を開催することが必要です。
- ② その際は、各校務分掌の担当者が学校自己評価結果について発表することが、学校改善に向けて最も効果的です。
- ③ 学校自己評価と学校関係者評価のずれを大切にしましょう。学校関係者の方が学校自己評価に、「納得できない」と言われる点が「客観性」の一つです。これがとても有効な学校改善に繋がります。



出された意見を参考にするために、学校関係者評価委員会の議事録等をとっておきます。資料P54

8 学校関係者評価委員会の総括(1月) 実践例

・学校自己評価結果及び改善点の報告の工夫

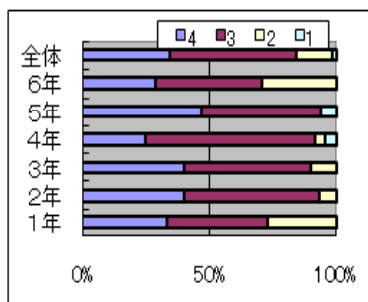
学校関係者評価委員の方々に、学校自己評価結果と改善点を納得していただくために、資料を作成しました。

(1) 資料名は、「学校評価の分析と考察～21年度改善点～」とし、内容については、保護者、児童、教職員のアンケート結果(グラフ)が、一目で理解できるように同じ列に並べたり、その考察及び今後の方針について載せました。

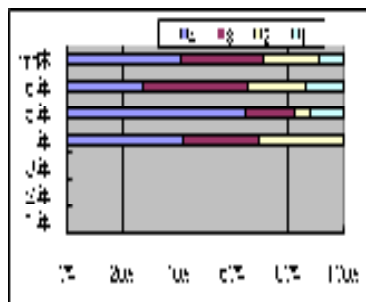
① 本年度重点目標の周知(グラフは、保護者、児童、教職員の順)

※ 児童像「よしだっこ」を知っている。※がんばれ「よしだっこ」がいえますか。※重点目標を意識して臨んだ。

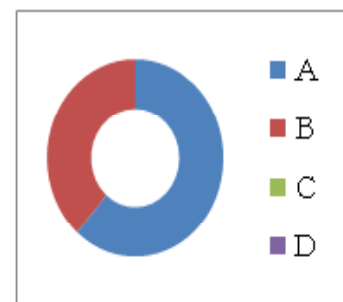
【児童】



【保護者】



【教職員】



(考察)

(今後の方針)

(2) それぞれの評価を比べ、保護者や児童、教職員の意識のずれがどこにあるのかを理解いただくために、以下のように工夫しました。

※それぞれアンケートでは、① 高い評価を受けた内容項目『よくあてはまる(4) ややあてはまる(3) を合わせた割合が90%を超えるもの』、② 評価の低い内容項目『よくあてはまる(4) ややあてはまる(3) を合わせた割合が85%以下のもの』

を上げ、その考察を載せました。

(3) パソコンによるプレゼンテーションでも説明していきました。

・学校関係者評価委員の方の評価

(1) 評価用のアンケートについて説明し、記入していただきました。原因や課題と思われることや教育活動全体について、自由に書いてもらう欄も設けました。

(2) 来年度の在り方や本校への要望や意見をいただきました。